



透明なファサードからまちへアクティビティが表出する東側外観

ART & SCIENCE という言葉が飛び交う。化粧品原料は鉱物など自然由来の物質が多く、それを ART & SCIENCE のポリシーのもと、ライフスタイルを美しくする製品に昇華させる。このプロセスを担う研究開発拠点が、横浜みなとみらい地区に建つグローバルイノベーションセンターである。

研究員同士、彼らにとってのお客さま、横浜の風景や歴史、環境が呼吸し、そこから得られるインスピレーションがイノベーションを促す力となる。研究フロアは間仕切りのないオープンな空間とし、北側、東側に交互に連続する吹抜けが各階を繋ぐ構成とした。研究員にはオープンな空間と街並みや風景を自由に感じて欲しい。その自由を享受する為に建築・設備・構造のナレッジを統合し、各実験室に要求されるスペックを満たすオープンな研究空間を実現した。「透明性」というコンセプトは、人や組織、環境や風景に流動性を促す仕掛けとなり、内・外にオープンな空間構成と高透過ガラスで包まれたファサードはその象徴である。この透明な建築は風景を映し込み、今という空気を感じ、資生堂のアクティビティを街に発信する装置「SHISEIDO CRYSTAL」として機能している。

The phrase "art and science" can be heard everywhere in the research center - where under the policy of "art and science", mostly natural-based ingredients of cosmetics, such as minerals, are eventually made into products which redefine the beauty of lifestyle itself. To support and promote these creative processes, there stands Shiseido's new R&D hub, the Shiseido Global Innovation Center (GIC), in the Minato Mirai 21 area in Yokohama, Japan.

We designed the GIC to achieve the comprehensive communication and influence between diverse people including researchers and their customers, and the environment: beautiful landscape and townscape of the historical urban site of Yokohama, and to inspire researchers' creativity and imagination to accelerate innovation.

The lab areas on the fourth through fourteenth floors are breezy open spaces, while open ceiling spaces located alternately in the northern and eastern parts connect all floors three-dimensionally.

We hope researchers enjoy this urban open lab and the outdoor and streetscape freely. For this purpose, we combined knowledge of architectural design, structural engineering and MEP engineering to create an open research environment where superior research facilities and equipment are installed to meet the demand to support various research projects.

Through our design concept "transparency", we aimed to accomplish high fluidity in people, organization, environment and landscape. The space configuration where the outdoor and indoor areas create the integrated feeling of openness, and the facade wrapped of high transmission glass, symbolize this concept. This "transparent" architecture serves as a "SHISEIDO CRYSTAL" - a device which at the same time reflects the surroundings representing the air of the present moment and transmits activities of the company taking place in the GIC.



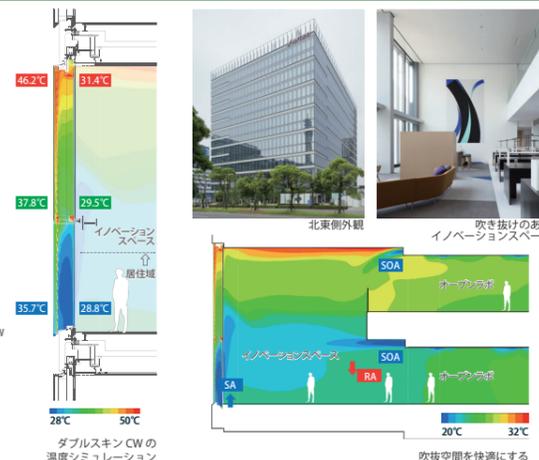
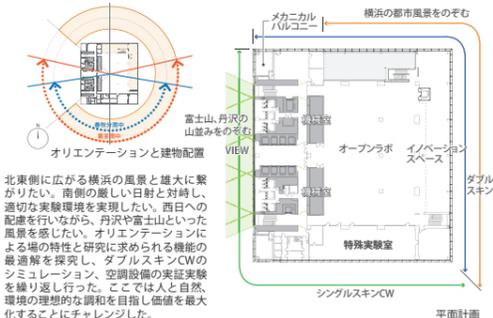
吹抜けでつながった開放的なイノベーションスペース



グリーンウォールが迎えるエントランス

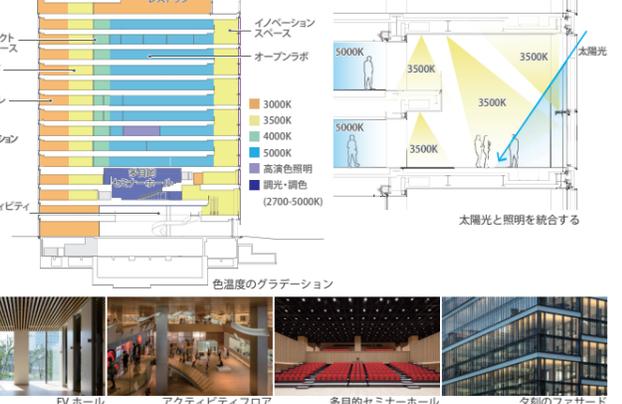
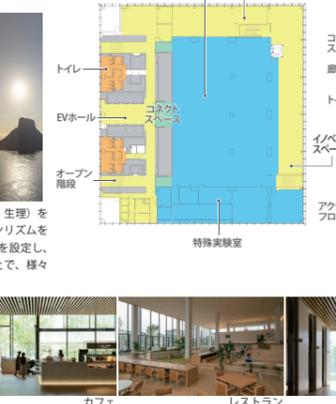
「自然 環境」と対話する

実験室からみなとみらいの街並みと海が見える。研究員のアクティビティを最大化する多様な場を実現する為、北側と東側のファサードにダブルスキンカーテンウォール、南側は縦フィンとスパンドレールによる構成で日射遮蔽効果を狙ったシングルスキンカーテンウォールをデザインした。ガラスは高透過Low-e複層ガラスを採用している。西側と東側、南側には空調負荷が高い実験室を配置し、北側と東側の外周には2層吹抜けのイノベーションスペースを設けた。実験室に広がる開放的な風景は、オリエンテーションから得られる基本的な環境特性に、新しい研究のカタチを重ねたプランニングの答えとなっている。



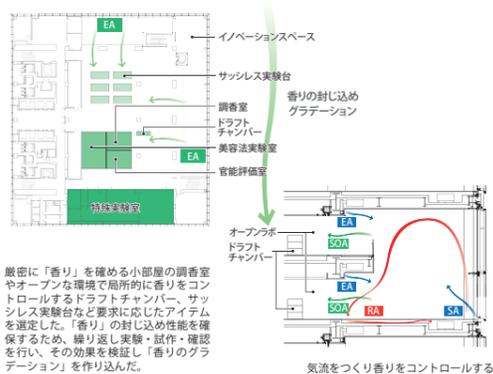
「光」と「灯り」を統合する

高透過ガラスによるファサードから溢れる光は、自然とイノベーションスペースにサーカディアンリズムをもたらす。実験室は5000kとし、イノベーションスペース、廊下、トイレなどの行為と気分に変化を促す様、段階的に暖かい色温度の照明を採用している。自然のサーカディアンリズムと人の行為、気分に変化をもたらす照明計画の統合を目指した新しい試みである。



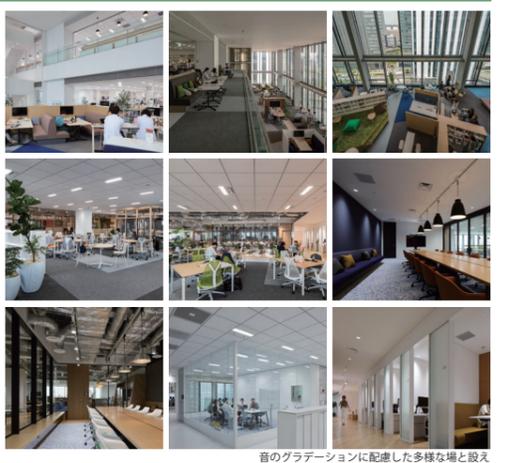
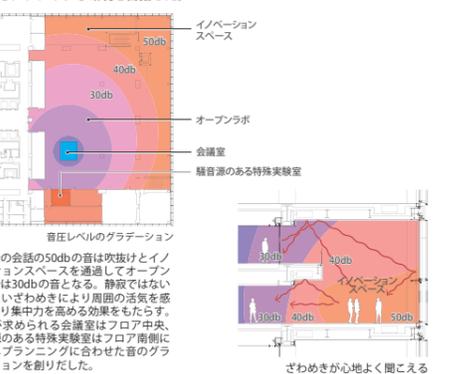
「香り」をマネジメントする

オープンな空間で研究員にはアクティブに動き、コミュニケーションを取ってほしい。一方、化粧品研究では多くの香料を扱うため、必要な香りを確認できる環境が求められる。オープンな実験室や連続する吹抜けを介し、香りが拡散しない様にイノベーションスペースでは給気・排気をフロア毎に完結している。また、実験エリアへの気流をつくり、香りを封じ込めるマネジメントを行なっている。



「ざわめき」を心地よくする

静かに集中する実験室と発想を刺激する心地よい「ざわめき」が感じられるオープンな空間。吹抜けが繋がる環境の中で段階的にコントロールされる「音のグラデーション」をイメージしてプランニングした。イノベーションスペースとオープンラボでは、それぞれから発せられる声や音を検証し、研究員が適度な「ざわめき」を感じるアクティブな環境を目指した。



評価表 (Environment&ME design evaluation criteria(self-evaluation))

評価項目	評価内容	達成率	評価項目	評価内容	達成率	評価項目	評価内容	達成率
01 計画性	計画性	0/2	02 環境性	環境性	0/2	03 社会性	社会性	0/2
02 実現性	実現性	0/2	03 経済性	経済性	0/2	04 安全性	安全性	0/2
03 持続性	持続性	0/2	04 健康性	健康性	0/2	05 快適性	快適性	0/2
04 象徴性	象徴性	0/2	05 効率性	効率性	0/2	06 信頼性	信頼性	0/2
05 完成度	完成度	0/2	06 柔軟性	柔軟性	0/2	07 拡張性	拡張性	0/2